



大川陽一通信

平成 26 年 夏号 大川よういち後援会 〒373-0057 太田市本町 47-15
TEL0276-22-2966 FAX0276-60-4047 E-mail:youiti@bb.mbn.or.jp

役職：太田市議会 議会改革特別委員長・教育福祉常任委員・創政クラブ会派代表・前副議長

HP <http://www.okawayoichi.net> blog <http://ameblo.jp/okawayoichi/> twitter http://twitter.com/okawa_yoichi

発達障がい児者の

支援について

大川 3歳児健診での発達障がいの認知状況について伺います。

部長 受診数1985人、異常なし1687人で

大川 8.4%、要観察と要医療、要精密の内9%が精神発達に関するものです。

大川 5歳児運動健診といって、ボールを使った集団行動やハサミを使った作業での判定から、発達障がいを見出す健診がありますが、所見を伺います。

部長 市単独での実施は難しい。しかし、効果もあるので今後研究して行きたいと思えます。

大川 個別の支援を必要とする児童生徒への対応として、早期発見と時間をかけた保護者との教育相談、特別支援学級の増設は欠かせません。

教育長 自閉症及び情緒の特別支援学級の増設について伺います。

大川 小学校10校、中学校6校に精神障がい特別支援学級を開設していますが、可能な限り増設し、適切な指導をしたいと思えます。

大川 3歳児健診と就学前健診の間の5歳児健診が発達障がいの早期発見に大変有効です。専門家と保護者が一緒に観察しながら診察することが理想だと言われており、二次障がいの軽減を図れると思えます。

市長 健診よりも、まずは親が自分の子どもが発達障がいかも知れないと気付く事が大事であり、幼稚園、保育園、行政で一人ひとりを丁寧に見て行く事が必要と考えます。

大川 保護者の意向を尊重した発達相談支援センターが必要と考えます。誰でも気軽に相談できる場所

市長 として保健センターでの相談業務の開設を望みますが、市長のお考えを伺います。

大川 専門の窓口を設置しなくても、保健師は随時訪問し相談を受け付ける体制をとっています。

市長 中央小学校隣接の通級指導教室は施設整備の時期に来ていると思いますが、お考えを伺います。

大川 中央小学校はリメイクがいい！（6月24日市長のツイッター）

中央小のことは、情緒の特別支援学校は35年にもなる。私が市議の時代。全面リメイクの時期になった。設計事務所のコンペで改造を計りたい。もちろん、利用者、教員などの意見を聞いて構造、色彩など時流にあわせたい。

議会議案5号

「手話言語法の制定」を求める意見書の提出

もし、制定すれば…ろう学校で「国語」の授業を日本語と手話の二つを対等に学ぶ事が出来ます。どこでも自由に手話が使えるようになります。テレビなど音声言語と同様に手話による伝達があり、「いつでもどこでも」手話通訳制度が可能になります。そんな社会の実現に向け、意見書を国に提出致します。

「請願紹介議員として、大川陽一ほか1名」

おうかがいバス、八王子墓苑に停留所を新規設置

急坂が多く階段も多いいため、管理事務所終点では墓所まで遠くて困難。墓所の近くまで行って欲しいとの要望です。そこで、交通政策課、墓苑管理の花みどり課、に検討して頂き墓所付近に停留所、新規5ヶ所を増設、合計6か所の停留所に致しました。お盆やお彼岸の時期などは是非ご利用ください。